

歳入の内訳

歳入 255 億 8,074 万円

歳入全体は、前年度と比べて 8 億 966 万円（3.3％）の増額となっています。普通交付税、法人市民税の増加や応援寄附金、火葬場整備受入事業収入などの諸収入の増加が主な要因となっています。

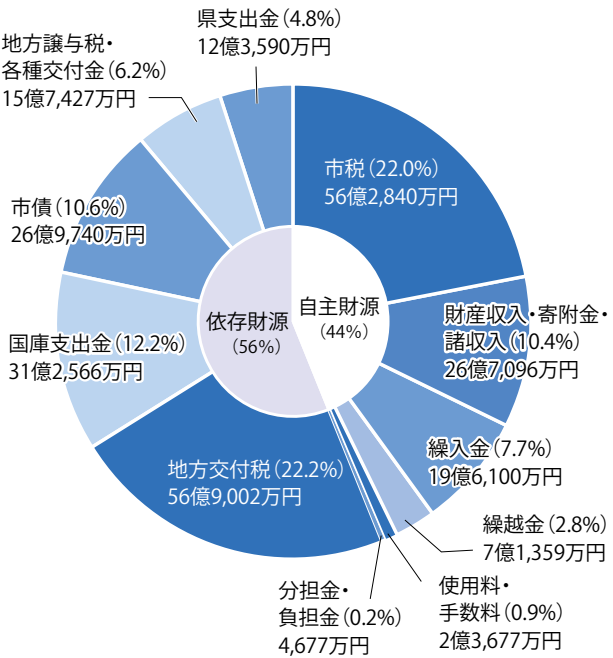
歳出の内訳

歳出 248 億 3,951 万円

歳出全体では、前年度と比べて 7 億 8,202 万円（3.3％）の増額となっています。給与改定などによる人件費の増加、障害福祉サービスや定額減税補足給付金（調整給付）給付事業などの扶助費の増加が主な要因となっています。

令和 6 年度の歳出を目的別に分類してみると、介護保険事業や私立保育園運営委託事業などの民生費が全体の 29.6％と最も多くを占めています。市債（借入金）の返済である公債費は 8.5％となっています。

また、性質別に分類してみると、普通建設事業費が全体の 18.9％、人件費が 16.6％となっています。



普通会計決算の概要

令和 6 年度の市の普通会計（一般会計）の決算額は、歳入 255 億 8,074 万円に対し、歳出 248 億 3,951 万円で、令和 7 年度へ繰り越した事業の財源を差し引いた 6 億 2,404 万円が実質的な黒字となりました（会計間の繰入・繰出の重複などを控除しているため、下表の一般会計の額とは異なります）。

また、市の貯金である基金のうち、災害などに備える財政調整基金の年度末残高が 37 億 444 万円となり、令和 5 年度末残高と比較して 9,189 万円減少しましたが、財政の健全な運営に資するために必要な一定の水準を確保しています。

会計別決算		(単位：万円)		
区 分		歳入額	歳出額	差引額
一般会計		2,558,632	2,484,509	74,123
特別会計	国民健康保険	396,649	395,234	1,415
	国民健康保険診療施設差掛診療所	1,531	1,511	20
	介護保険	453,598	444,224	9,374
	後期高齢者医療	74,933	74,900	33
	土地開発事業	4,564	34	4,530
	企業団地造成事業	90,679	89,664	1,015
計（一般会計・特別会計）		3,580,586	3,490,076	90,510
事業会計	病院事業会計	182,792	205,601	△ 22,809
	水道事業会計	99,710	95,720	3,990
	下水道事業会計	149,716	141,087	8,629
計（事業会計）		432,218	442,408	△ 10,190

※事業会計については、収益的収入および収益的支出を計上しています。

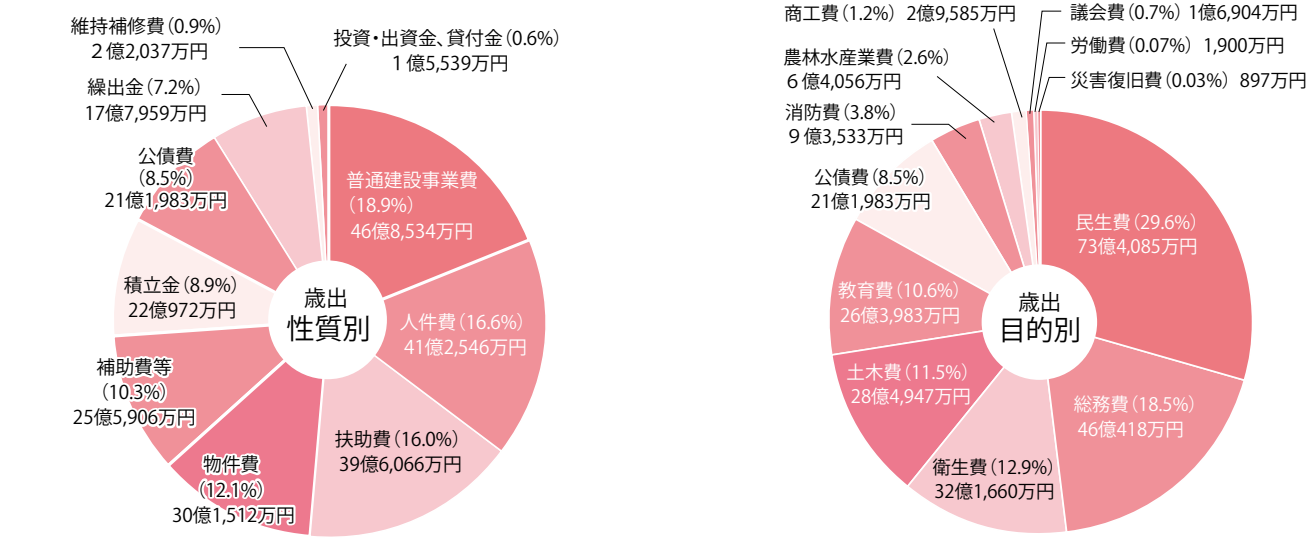
決算報告

令和 6 年度 瀬戸内市会計決算

令和 6 年度瀬戸内市会計決算とは、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの瀬戸内市の収入と支出の実績のことです。

昨年度、どのくらい収入があり、市のまちづくりにどのように使われたのか、決算の概要から市の財政状況をお知らせします。

☎ 財政課 0869-22-3905



市民一人あたりの歳出額

市民一人あたりに使われたお金 688,666 円

<div>民生費 203,522 円</div> <div>高齢者や障がい者、子どもなどの福祉</div> <div></div>	<div>総務費 127,649 円</div> <div>庁舎の維持管理、市税の賦課徴収、広聴広報など</div> <div></div>	<div>衛生費 89,179 円</div> <div>環境対策、保健・医療、ごみ処理など</div> <div></div>	<div>土木費 79,001 円</div> <div>公園や道路の整備など</div> <div></div>	<div>教育費 73,188 円</div> <div>学校教育や生涯学習など</div> <div></div>
<div>公債費 58,771 円</div> <div>国や金融機関から借りた市債の返済</div> <div></div>	<div>消防費 25,932 円</div> <div>消防や救急、災害対策など</div> <div></div>	<div>農林水産業費 17,759 円</div> <div>農業振興、農道・林道の整備、有害鳥獣対策など</div> <div></div>	<div>商工費 8,202 円</div> <div>観光振興、中小企業支援など</div> <div></div>	<div>議会費 4,687 円</div> <div></div> <div></div>
				<div>労働費 527 円</div> <div></div> <div></div>
				<div>災害復旧費 249 円</div> <div></div> <div></div>

※普通会計の歳出が一人あたりいくらになるのかを令和 7 年 4 月 1 日現在の人口（36,069 人）で算出しています。

財政指標

代表的な財政指標のうち、財政構造の弾力性を判断するための経常収支比率は 87.4％と 1.5 ポイント低下しました。これは、人件費や扶助費などの義務的経費は増加したものの、普通交付税や法人市民税などの一般財源が増えたことが主な要因となっています。

また、財政健全化法に基づく指標は、いずれも財政の早期健全化が義務付けられる基準を下回っており、実質公債費比率は 8.5％と市債発行について県の許可が必要となる 18％以下を維持しています。

今後の財政計画

将来の財政状況を見通し、中・長期的な視点に立つて財政運営を行うため、今後 5 年間の財政計画である「瀬戸内市中期財政計画（令和 7 ～ 12 年度）」を策定しています。詳細は市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

財政健全化判断比率など

指 標		市の比率 %	早期（経営）健全化比率 %	財政再生比率 %
経常収支比率		87.4	—	—
財政健全化判断比率	実質赤字比率	—	13.07	20.00
	連結実質赤字比率	—	18.07	30.00
	実質公債費比率	8.5	25.0	35.0
将来負担比率		35.8	350.0	—
資金不足比率（公営企業会計ごと）		—	20.0	—

※「—」は該当なしを表しています。



詳しくはこちら